

平成29年度英語科海外ホームステイ研修報告 8月2日(水)～3日(木)

いよいよ帰国の日を迎えました。ついこの間オーストラリアに到着したばかりだと思っていたのに、時の流れの速さを感じます。そして、今日は2週間お世話になったホストファミリーとのお別れの朝でもあります。大きなスーツケースを持ち、続々とファミリーに送られ生徒たちが Livingstone Christian College (LCC) に集合してきました。がっしり握手をして別れる生徒、家族の大きなハグで包み込まれる生徒、別れがたくてファミリーの車が見えなくなるまで手を振る生徒、堪えきれず涙を流す生徒など、様々な別れの場面がありました。異国の地で出会い、見ず知らずの人と2週間も生活を共にするというのは、高校1年生の生徒にとって大きなチャレンジだったと思います。しかし、毎日試行錯誤しながら会話の糸口を見つけ、苦楽を共にしたからこそ、こうして家族との絆を築くことができました。家族との信頼関係は生徒一人一人がしっかりと「行動」した証です。中には「絶対また帰ってくる！」と家族と約束してきた生徒もいます。ぜひこの関係をここだけでは終わらせず、一生ものの関係にしていってほしいと思います。



その後はホストファミリーとバディーに見送られ、LCCを後にして、ダイレクト・ファクトリー・アウトレットにて最後のお土産タイムを楽しみました。さすが郡高生、集合時間までに余裕を持って全員集合し、プリズベン空港に移動しました。

空港では、数日前シドニーであったテロ容疑者逮捕の事件を受け、出発の3時間前に到着したにも関わらず、チェックインでは既に長蛇の列になっていました。しかし、なんとか全員無事に出国、セキュリティーチェックを通過し、搭乗ゲートに辿りつきました。搭乗前に、「帰りたくない。」という声があちらこちらから聞こえてきました。生徒それぞれ今回の研修で何を学び、感じたのかはそれぞれ違うと思います。それでも海外で生活した中で何かが生徒の心に響き、彼らの「学ぶ」意欲に火が点いたのだと思います。日本に帰国しても、その意欲を持続してもらいたいと思います。



20:30頃に、経由地のシンガポール・チャンギ空港に到着しました。乗継便まで3時間程待ち時間があつたのですが、ここでの一コマを紹介します。搭乗ゲートのソファには限りがあり、全員座れるほどのスペースはありません。その際に男子生徒がずっと立ち上がり、「女の子座っていいよ。」と席を譲る一幕がありました。彼らがそれを紳士的にスマートに行っている態度を見て、今回の研修で彼らが学んだのは語学力だけではなく、レディーファーストのマナーでもあると感じました。どんな場面でも、人と関わる際にマナーは大事です。今後も大切にしていきたいと感じました。

その後、23:55に定刻どおりシンガポールを出発し、朝7:40頃に成田空港に無事到着しました。その後バスに乗り、13:00頃に郡山高校に到着。多くの保護者の方、先生方にお出迎え頂きました。帰りのバスの中では、引率の2名の先生から「ここで研修が終わりではなく、ここからが本番。この研修をどう今後活かしていくか。」「せっかく出会えたホストファミリーとの関係をこれからも大切に。」と生徒へエールが送られました。

今回の研修は、生徒にとって全てが「挑戦」だったと感じます。それでも現地でいつも言われた“Don't be afraid of making mistakes.”という言葉によって、失敗を恐れず一歩踏み出す勇気が彼らの中に少しずつ芽生えた期間でした。非日常空間だからこそできたこともあったと思います。しかし、今度は日常生活でトライ＆エラーを繰り返しながら、自ら行動を起こして前に進んでいって欲しいと思います。研修期間中、常に前向きだった郡高生ならきっとできると確信しています。

保護者の方をはじめ、先生方、多くの方のサポートでこの研修を無事に終えることができました。ご協力頂きまして、誠にありがとうございました。